

業界サード

新製品

使用時の安全性に配慮した ハンドル「フラットレバー」

(株)長沢製作所(埼玉県比企郡嵐山町、長沢昌幸社長)では、ハンドル部分を折りたたむことによって使用者の安全性向上を図る室内用レバー

ハンドル「フラットレバー」を発売している。

室内ドアの開閉において、ハンドル部分に服の袖などを引っ掛けてしまふことによつて使用者の安全性向上を図る室内用レバー

故になるケースも発生している。また、大きな荷物の搬入時にはハンドル部分が障害となつてスムーズな移動ができない場合もある。同社では、こうした事故対策や要望に対し、レバーハンドルのハンドル部分を折りたためる可動式にすることによって解決する方法を考案。レバーの出っ張りによる事故を軽減し、大きな荷物の出し入れ時にスペースを確保できる可動式レバーハンドルとして発売した。

カラーバリエーションはメタリックゴールド塗装、メタリックシルバー塗装、メタリックアンバー塗装の3種類。レバーハンドルの材質は亜鉛合金。標準扉厚は33mmであるが、特注で30mm厚及び36mm厚にも対応できる。また、異常が起きると安全側に働くフェイルセーフ設計を取り入れた閉じ込め防止機能を付与している。

設計価格は4500円(施工費、消費税別)。「フラットレバー」はユニバーサルデザイン仕様であり、一般の住宅のみならず、医療施設や文教施設でも用途の広がりが期待される。

同社の「リドア」は既存の玄関ドアの枠をそのままに、ドア部分のみを新調するリフォーム需要を想定した木製玄関ドア。既存枠を生かすことで施工時間が短縮されると、工事費用が圧縮されるという利点を持つ。商品には柱目の突板をクロス接着させた同社独自開発の積層木材「クロス・プライウッド」を採用したものと、無垢材のものとがある。ドア表面の材質がシボのドアには「クロス・プライウッド」が使われ、ナトーとアガチスのドアは無垢となつてある。高さ、幅共に1mm単位で加工できるため、既存のドアのサイズに関わりなく取り替えに対応できる。

阿部興業(東京都新宿区、阿部清英社長)は既存枠を生かしてドア部分をリフォームする木製玄関ドア「RE-DOOR(リドア)」のシリーズに、ワインテージ調の新柄を追加。1月15日より販売を開始した。

新製品

阿部興業(株)

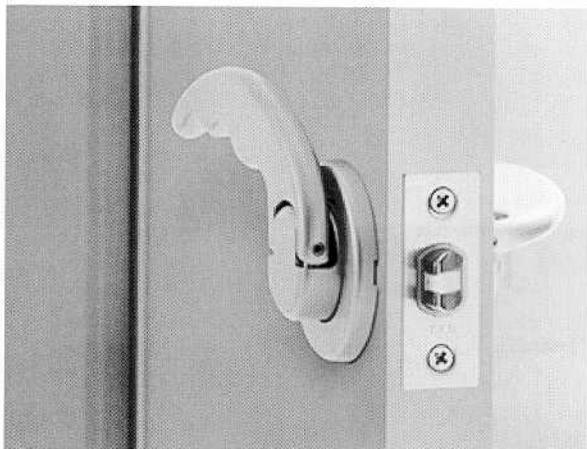
新製品

リフォーム用「リドア」に ワインテージ塗装を追加

同社の「リドア」は既存の玄関ドアの枠をそのままに、ドア部分のみを新調するリフォーム需要を想定した木製玄関ドア。既存枠を生かすことによって施工時間が短縮されると、柱周辺の補修工事が発生せ

ず、工事費用が圧縮されるという利点を持つ。商品には柱目の突板をクロス接着させた同社独自開発の積層木材「クロス・プライウッド」を採用したものと、無垢材のものとがある。ドア表面の材質がシボのドアには「クロス・プライウッド」が使われ、ナトーとアガチスのドアは無垢となつてある。高さ、幅共に1mm単位で加工できるため、既存のドアのサイズに関わりなく取り替えに対応できる。

今回、新柄として追加したのは色



フラットレバー